



### 大洲高等学校 カヌー部

写真左から

大野 <sup>ゆな</sup>結菜さん (2年)

奥本 <sup>まりあ</sup>真里亜さん (3年)

中原 <sup>かのん</sup>夏音さん (3年)

加藤 はるさん (3年)

#### 【出場種目】

カナディアンシングル 中原さん

カヤックシングル 奥本さん、加藤さん、大野さん

高校から本格的にカヌーを始めた4人。3月に行われた全国高等学校カヌー選抜大会に出場し、学年別で競う各種目で全員が入賞しました。

中原さんは、親戚にカヌー経験者がいたことをきっかけに入部。1年時には同大会で優勝しました。今年は2位となり、昨年勝った相手に敗れる悔しさは残りましたが、タイムは向上し、成長を実感する大会となりました。

奥本さんは、広報誌に掲載された先輩の姿を見てカヌーに興味を持ち入部。1年時は入賞を逃しましたが、「今年こそは」と挑戦し見事3位に。「タイムは良くなかった。うれしさと悔しさが半々」と振り返ります。

加藤さんは、「大洲高校でしかできないことを」とカヌーを選択。大会では一時3位につけるも、焦りから後半に失速し、わずかに0.1秒差で5位に。「これまでの悔しさを力に、支えてくださった方々へ結果で感謝の気持ちを返したい」と高校最後の年への思いを語りました。

大野さんは、中学生の時に「えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業」でカヌーと出会い入部。シングル種目では今回が初の全国大会でしたが、見事2位に。「緊張したけど、自分の力を試すことができ楽しかった」と笑顔を見せました。

部活動が終わった後も、用事がなくても部室に集まり、談笑や筋トレをしながら自然と時間を共に過ごす部員たち。3年生14人は男女問わず仲が良く、一緒に食事に出かけることもあるそうです。こうした日々がチームの結束力を高めています。今年目標を尋ねると、全員が「全国高校総体での入賞と国民スポーツ大会への出場」と力強く語ってくれました。

## HighSchool NOW

## Vol.111 大洲農業高等学校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

私たち食品デザイン科生活デザインコース2年生は、毎年3月に東大洲こども園を訪問し、「食育交流会」を行っています。今年も園児たちと一緒に、食について楽しく学ぶ時間を過ごしました。

交流会では、郷土料理や学校給食、大洲で作られている作物などに関する食育クイズを10問出題。園児たちは元気いっぱい答え、正解すると大きな歓声が上がりました。その明るい声に私たちの緊張もほぐれ、会場は和やかな雰囲気になりました。

また、フェルトなどの素材を使ったお弁当作りでは、事前に準備したおかずを選びながら彩り良く弁当箱に詰め、主菜や副菜のバランスの大切さを伝えることができました。

これからも近隣との交流を継続し、地域に支えられている高校として、地域とのつながりを大切に頑張りたいと考えています。



一次回は長浜高等学校からですー